

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| | 電 | 子 | 展 | 示 | 会 |
| | 余 | 録 | | | |

『インクナブラー西洋印刷術の黎明』

昨年夏に当館ホームページ上で公開した『インクナブラ：西洋印刷術の黎明』は今夏には英語版も公開され、広く利用されることを待っている。筆者はこの製作に関係したので、余録を記してみたい。

この電子展示会は当館所蔵のインクナブラを紹介するだけでなく、インクナブラの全体像を明らかにするというコンセプトの下で計画された。インクナブラの所蔵点数が13点（2004年時点）と少ないので、零葉やファクシミリ版も材料にするとともに、インクナブラ書誌や調査ツールを総動員して製作した。なかでも特に力を入れたのが活字に関する記述である。

インクナブラで使われた活字の総覧としてK. Haebler : *Typenrepertorium der Wiegendrucke* (Leipzig, 1905-24) があるの

で、まずこれにある活字4,681種類のデータをエクセル入力した。その際、印刷都市名や印刷者名は本展示会でも採用している英国図書館作成インクナブラ総合目録ISTCでの形に合わせた。HaeblerとISTCで一致しない印刷者名があるなど正確さにおいてまだ疑問が残るので、この表は本展示会上では公開していない。次に、この表を用いてインクナブラ活字の統計を採った。この結果の大雑把な数字は本展示会第二章中のコラムで述べているが、ここではもう少し詳しく紹介してみたい。

先の表から統計用のため各印刷者を単位として、彼らが用いた活字フォント数をGothicやRomanなど種類別にカウントした表をまず作り、それからさらに印刷都市を単位として、そこでの印刷者数と彼らが使った活字の種類数がわかる表を作った。その際、印刷地がNorthern Italyなどのように都市名が特定されていない活字や印刷者名がn.pr.とのみあり具体的に表記されていない活字など約30種は対象からはずした。これを集計すると244都

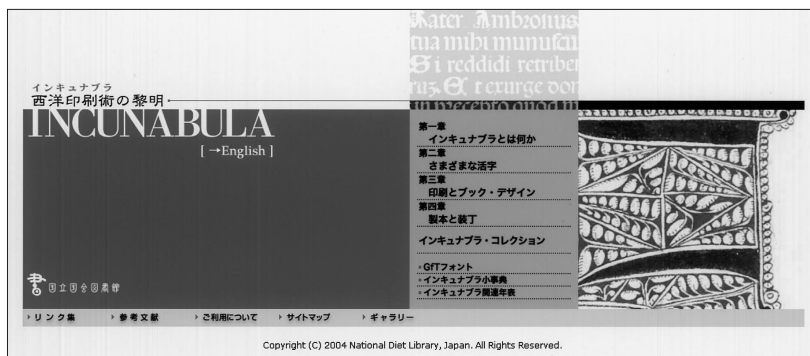


表1 地域毎の使用活字統計

| 地域 | 都市数 | 印刷者数 | 活字数 | Gothic | Roman | Greek | Hebrew | Cyril.etc. |
|---------------|-----|------|-------|--------|-------|-------|--------|------------|
| ドイツ | 56 | 260 | 1,272 | 1,222 | 50 | 0 | 0 | 0 |
| イタリア | 74 | 539 | 2,090 | 1,249 | 764 | 20 | 57 | 0 |
| フランス | 44 | 168 | 783 | 738 | 45 | 0 | 0 | 0 |
| ネーデルランド | 22 | 60 | 182 | 181 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| スペイン ポルトガル | 28 | 74 | 237 | 202 | 17 | 0 | 18 | 0 |
| イギリス | 4 | 12 | 52 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 16 | 23 | 31 | 27 | 1 | 0 | 0 | 3 |

市で1,136の印刷者が用いた4,647種の活字について表1のような結果となった（複数の都市で活動した印刷者は都市毎に別の印刷者としてカウントしている。ただし活字の父型や母型は、ある印刷者から別の印刷者へと売られたり譲り渡されたりしたので同じ活字フォントを二重にカウントしている場合があるが、そこまで立ち入った考察はしていない）。ISTCから得られる印刷都市数は258、印刷者数は1,164であるので、Haeblerに採録されていない活字や対象からはずした印刷者の数はそれほど多くないと思われる。

これらの数字だけではインキュナブラ活字の多様性が実感できないので、本展示会では活字フォントの実例を画像で紹介した。画像の元となったのは *Veröffentlichungen der GfT* (Halle, 1907-39) という資料集で、そこから139点の活字フォントのファクシミリを画像化した。この資料集の当館所蔵分（全33巻のうち32巻）には1,877点の活字フォントが収載されている。地域毎の内訳はドイツ800、イタリア590、フランス284、ネーデルランド99、スペイ

ン・ポルトガル81、イギリス9、その他14であり、全インキュナブラ・フォントの40%が収載されている。このフォント全部を画像化するには量が多いので「インキュナブラ・コレクション」で紹介している印刷者のものや有名な活字フォントから139点を選び出したが、画像化されていないものでも原資料に直接当たれるよう、1,877点のフォントについては印刷者からそのフォントが載っている原資料の図版番号（GfT番号）が分かるような一覧表を作成し、「GfTフォント」というコーナーに置いてある。

Haebler: *Typenrepertorium* では活字情報として活字の種類と大きさ、ゴシック体の場合はMの形という3種類を記述しているので、先に述べたエクセル表からこれらの分析も行なってみた。表2は活字の大きさを調査したもので、ゴシック体、ローマン体について20行の高さが40mmから200mmまでのものの分布を見たものである。ゴシック体についてはHaeblerはMの形を101のパターンに分類して識別の目安とした。実際の形は本展

表2 活字の大きさ

| 20行分の高さ(単位mm) | Gothic | Roman |
|---------------|--------|-------|
| 40以上50未満 | 17 | 0 |
| 50以上60未満 | 94 | 0 |
| 60以上70未満 | 312 | 2 |
| 70以上80未満 | 425 | 72 |
| 80以上90未満 | 578 | 206 |
| 90以上100未満 | 633 | 98 |
| 100以上110未満 | 318 | 226 |
| 110以上120未満 | 270 | 18 |
| 120以上130未満 | 128 | 1 |
| 130以上140未満 | 148 | 2 |
| 140以上150未満 | 150 | 0 |
| 150以上160未満 | 129 | 0 |
| 160以上170未満 | 194 | 0 |
| 170以上180未満 | 59 | 0 |
| 180以上190未満 | 101 | 0 |
| 190以上200未満 | 23 | 0 |

表3 活字の大きさとM形の相関

| 大きさ \ M形 | M49 | M88 | M99 | M91 | M32 | M38 | M87 | M60 | M18 | M47 | M94 | M89 | M44 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 60以上70未満 | 66 | 14 | 7 | 31 | 12 | 2 | 21 | 0 | 3 | 39 | 36 | 1 | 1 |
| 70以上80未満 | 166 | 30 | 16 | 15 | 0 | 9 | 12 | 1 | 11 | 13 | 1 | 19 | 1 |
| 80以上90未満 | 51 | 65 | 39 | 23 | 0 | 24 | 16 | 0 | 6 | 0 | 1 | 14 | 5 |
| 90以上100未満 | 30 | 81 | 47 | 59 | 39 | 21 | 24 | 1 | 3 | 0 | 0 | 6 | 61 |
| 100以上110未満 | 19 | 14 | 8 | 10 | 26 | 43 | 10 | 0 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 |
| 110以上120未満 | 14 | 8 | 3 | 4 | 54 | 13 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | 0 |
| 120以上130未満 | 3 | 1 | 0 | 0 | 9 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 7 | 2 | 0 |
| 130以上140未満 | 0 | 17 | 4 | 1 | 7 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 12 | 3 | 0 |
| 140以上150未満 | 0 | 13 | 14 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 23 | 0 | 7 | 1 | 0 |
| 150以上160未満 | 0 | 8 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 160以上170未満 | 2 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 180以上190未満 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |

表4 地域とM形の相関

| 地域 \ M形 | M49 | M88 | M99 | M91 | M32 | M38 | M87 | M60 | M18 | M47 | M94 | M89 | M44 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ドイツ | 122 | 41 | 69 | 21 | 0 | 21 | 63 | 72 | 25 | 78 | 22 | 14 | 68 |
| イタリア | 161 | 166 | 96 | 117 | 0 | 60 | 28 | 1 | 46 | 6 | 52 | 54 | 1 |
| フランス | 91 | 56 | 5 | 25 | 138 | 22 | 11 | 33 | 19 | 2 | 4 | 2 | 0 |
| スペイン | 4 | 21 | 8 | 4 | 2 | 13 | 3 | 0 | 3 | 1 | 5 | 2 | 0 |
| ネーデルランド | 8 | 0 | 0 | 4 | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 5 | 0 | 0 | 2 |
| イギリス | 3 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

示第2章のコラム「活字の分類法」中に示してあるので、そちらを参照されたいが、この形と活字の大きさ、あるいは使われた地域との相関を調べたのが表3-4である。

インキュナブラ活字（特にゴシック体）にこれだけ種類が多いのは、中世写本では本の種類や筆写地により書体が異なっていたことを引き継いでいるからである。ローマン体活字はその名の通りほとんどがイタリアで使われ、ゴシック体活字はヨーロッパ全体で使われた。ゴシック体の地域的な特徴を見てみると、大きさについてはイタリアでは小さめの活字（20行80-90mm）が多く使われ、ネーデルランドでは大きめの活字（20行100-110mm）が多く使われた。M形に関しては特に多く使われた13種につき表3-4で示したが、表に現われていないもので特定の地域でよく使われたものとして次のものがある：ドイツでのM13（49）、M81（42）、イタリアでのM20（50）、M98（48）、

M83（44）、フランスでのM37（49）、ネーデルランドでのM74（20）、M65（15）、M72（14）、M80（14）、スペインでのM95（11）、イギリスでのM80（10）。インキュナブラ各印刷者がどういふ本を誰向けに印刷したのかに応じてこうした多様性が生まれたわけであるが、何らかの結論を得るにはまだまだデータが不足している。

本展示会でこのように活字にこだわったのも、19世紀後半よりインキュナブラ学が急速に発展した要因は活字比較による印刷者同定という方法論が採用されたことであり、その追体験を行なってみたかったからである。そこで「活字同定体験コーナー」というものも作ってみた。Haebler: *Typenrepertorium*も現在のインキュナブラ学からすれば改訂がなされてしかるべきであろう。デジタル技術をうまく用いることで誰でも使えるような活字同定ツールができることを期待している。

（古典籍課 折田洋晴）